

木津川・前深瀬川の洪水被害を軽減 【川上ダム管理開始以降、初めての防災操作】

独立行政法人水資源機構が管理する淀川水系木津川支川前深瀬川の川上ダム（三重県伊賀市）の流域では台風7号による降雨により、8月14日5時から15日17時までの総雨量が241mmを記録し、ダムへの最大流入量は毎秒約143立方メートルを記録しました。

この洪水に対して川上ダムでは防災操作^{*}を実施し、ダム下流約4kmにある比土（ひど）水位観測所付近で河川水位を約0.3m低減（推定）させることにより、下流沿川の洪水被害軽減に努めました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

ダム・河川水位の情報等は下記HPにて公表しています。

・ダム情報：木津川ダム総合管理所 URL：<https://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index.htm>

・水位情報：国土交通省 川の防災情報 URL：<https://www.river.go.jp/index>

令和5年8月16日



みずしげんきこう
独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

伊賀記者会

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所

川上ダム管理所 大高（おおたか）

住所：三重県伊賀市阿保^{あお}2171番地12

電話：0595（52）3690

木津川・前深瀬川の洪水被害を軽減 ～台風7号に伴う川上ダムの防災操作～

8月14日5時から降り始めた台風7号による降雨は、川上ダム（三重県伊賀市）上流域で、8月14日23時から8月15日0時の1時間の雨量が最大41mm、総雨量は241mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約143立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、流入量が増加し、15日1時00分には洪水量（毎秒約70立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

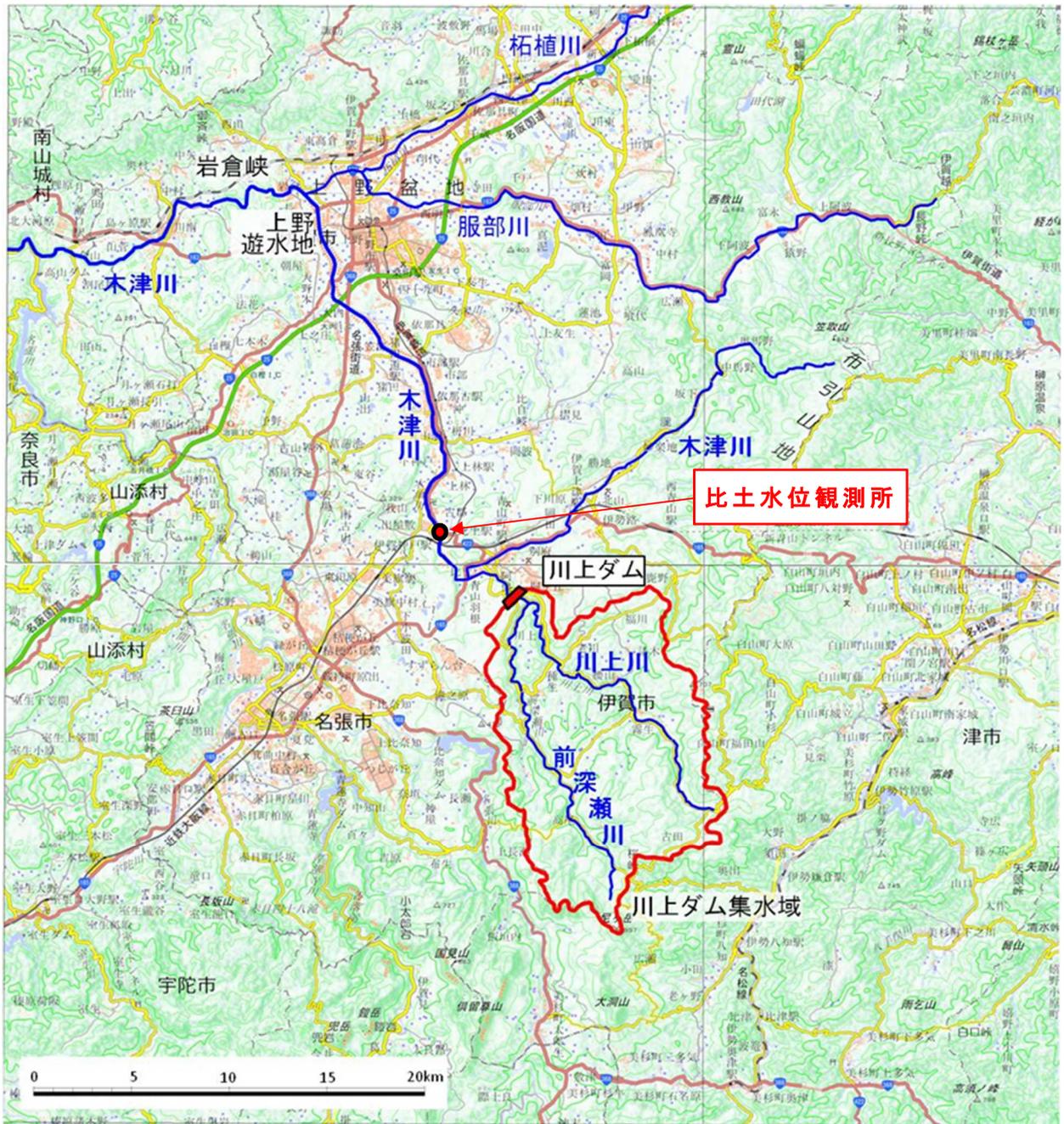
<今回の防災操作の概要>

	流域平均 総雨量	ダムによる貯留量 が最大となった時 刻	同時刻にお けるダムへ の流入量	同時刻にお けるダムか らの放流量	ダムに貯留 した量
川上ダム	241mm	令和5年8月15日 2時	約143m ³ /s	約70m ³ /s	73m ³ /s

ダム下流の比土（ひど）水位観測所で、河川水位を約0.3m低減（推定）させることにより、下流沿川の洪水被害軽減を行いました。

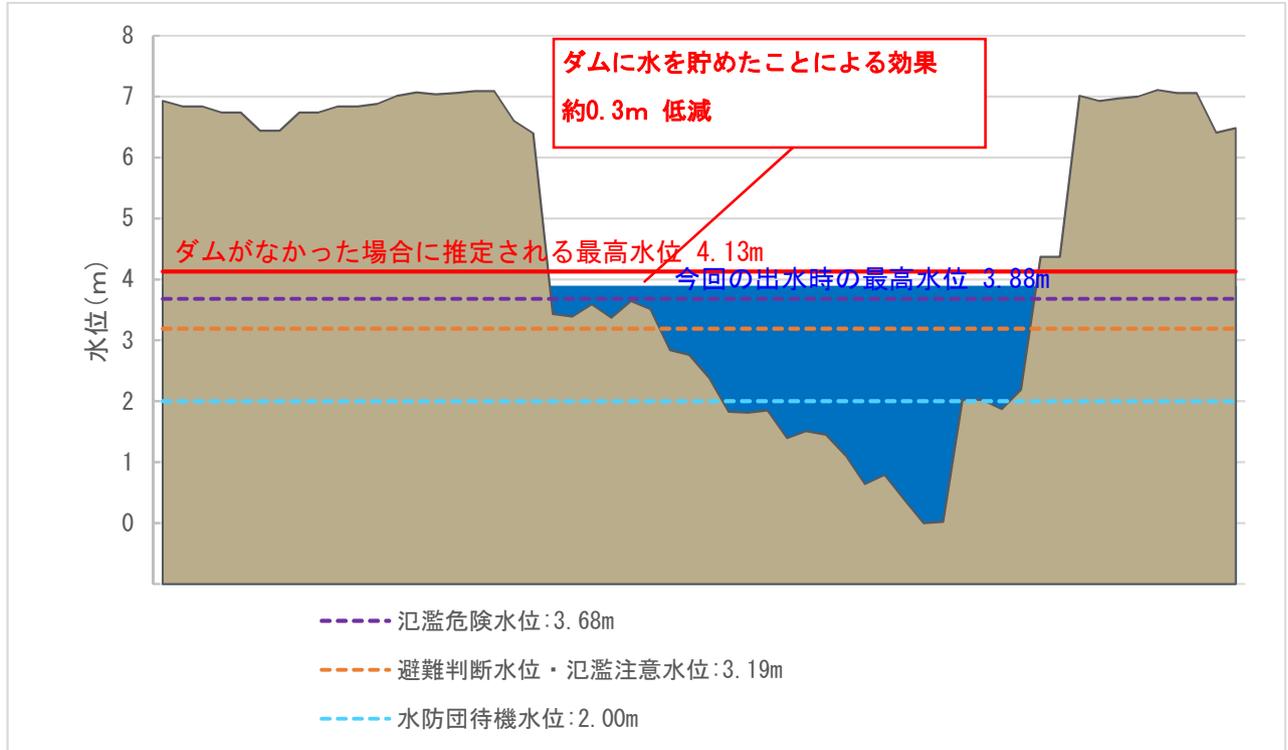
川上ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

川上ダム位置図

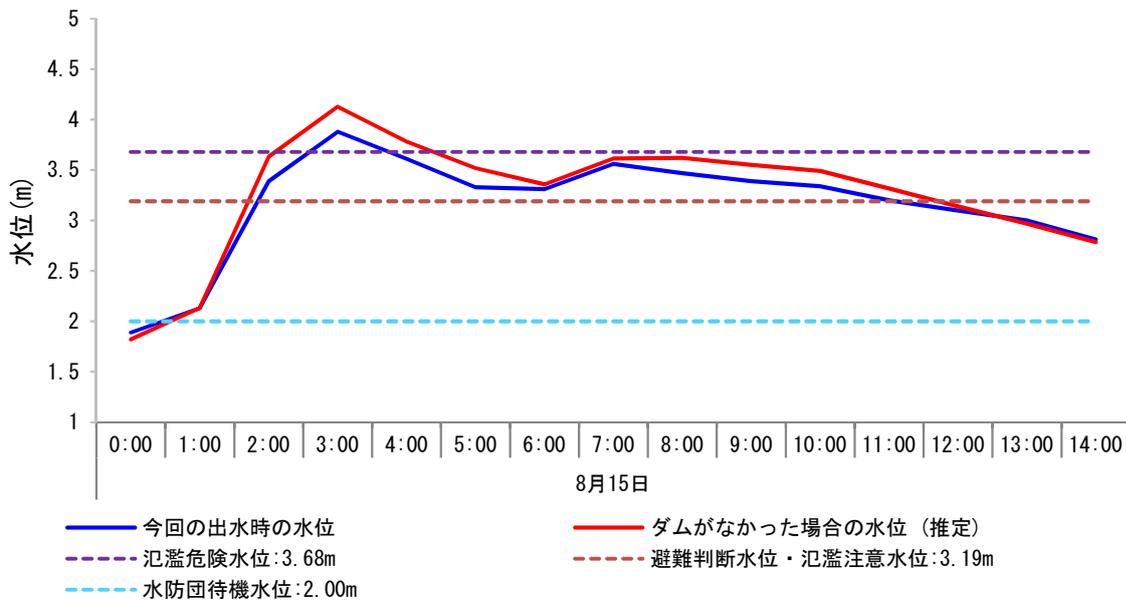
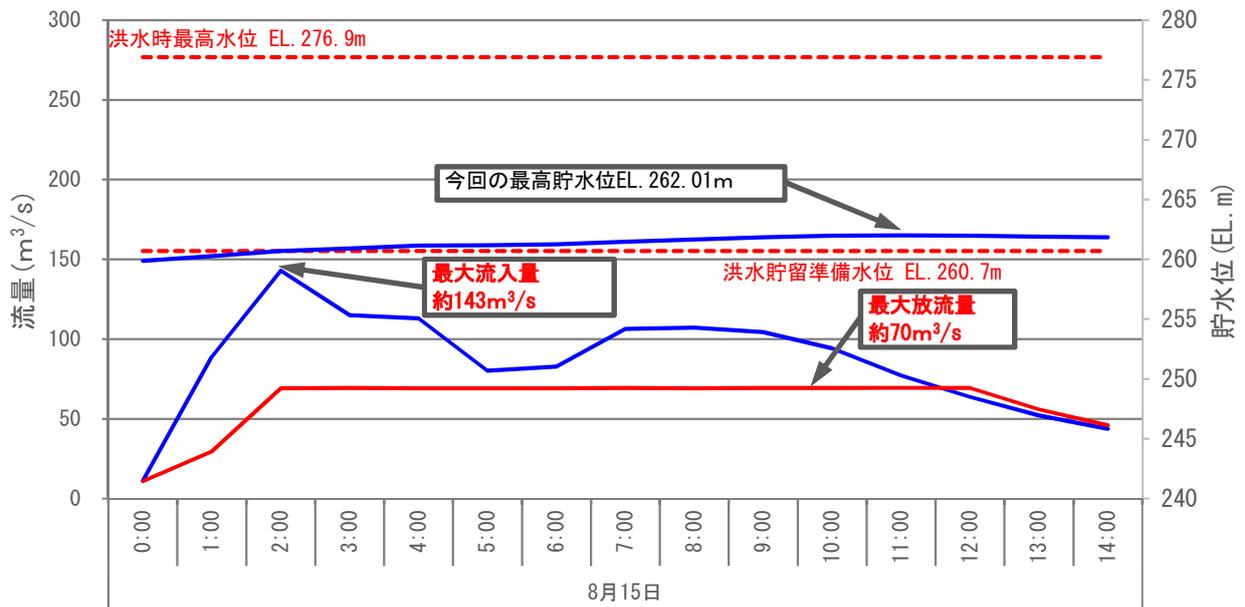
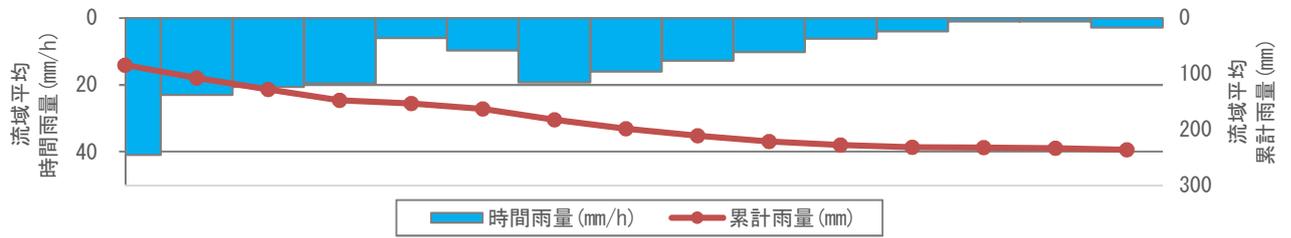


比土地点の水位状況図

ダムにより約0.3mの水位低減効果がありました。



川上ダムの防災操作



川上ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約455千m³
 堤高 : 84.0m
 堤頂長 : 334m
 湛水面積 : 1.04km²
 流域面積 : 54.7km²
 管理開始 : 令和5年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節

前深瀬川、木津川沿川および淀川本川の洪水被害を軽減することを目的にダム地点における計画最大流量850m³/sのうち780m³/sをダムに貯留し、70m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

前深瀬川や木津川の河川環境の維持・保全等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 既設ダムの堆砂除去のための代替補給

木津川上流にある既設ダムの堆砂除去のための代替補給の容量を川上ダムに確保し、既設ダムが堆砂除去する際、既設ダムの代わりに下流に必要な水を放流する。

4. 水道用水

伊賀市の水道用水として、最大0.358m³/sの取水を可能とする。



■貯水池容量配分図

